

DXの 道標を示す60分講演！

中国経済連合会×アイデミー共催DXセミナー 「DXを加速させるためのたった1つのポイント」

目指すゴールは、デジタルネイティブな組織への変革だ！

2022年9月13日(火)

17:00～18:00 ※オンライン(Zoom)

株式会社NextInt 代表

中山ところてん 講師

電気通信大学大学院人間コミュニケーション学専攻修了。通信会社の研究所にて情報セキュリティやビッグデータ基盤の研究開発に従事。その後、ソーシャルゲームの分析や企画、ECの販促支援ツールの開発を経て、株式会社NextIntを起業。機械学習の事業導入に関する企画コンサルティング、ゲームディレクター、企業のDX支援などを行っている。



3つのポイントを理解できる！

- 「なぜDXが進まないのか？」に関する本質的な要因
- DX後の企業の働き方、仕事の進め方
- DXを加速させるための最重要ポイント

受講者の 95%が変化を実感！

某S株式会社様マネジャー層以上向け 『ビジネスパーソンのためのDXセミナー』 で講演した際の参加者からの声

Q: 本講演に参加する前と講演後では、
DXに関する認識はかわりましたか？

Yes **95%** ※

= DXの兆し、続々!! =

危機感を感じました。
社員全員がレベルア
ップしないと生き残れ
ないと思いました。

ある程度のシステムやソ
フト、DXの潮流の基礎
知識はどのポジションでも
必須と感じましたので、
手の届くところから勉強し
たいと感じました。

専門部門に任せっきりで
はなく、「全員参加による
構築が大事」であることを
改めて理解できました。

※アイデミー受講者アンケート結果より集計（2022.02.16現在）アンケート回答数103名

参加資格者

- 中国経済連合会会員企業・団体へ所属の方

講演内容

- DXとは企業アジリティの変革である
 - DXの定義、DXとIT化の関係性について
- DXはなぜわかりにくいのか、DXの流れを整理
 - ゴール設定の失敗による混乱、モード1&2のDX
- DXを加速させるための最重要ポイント
 - DXは何を目指したら良いのか
- まとめ・質疑応答

会社情報

Corporate Profile 2022年2月時点

会社概要

会社名	株式会社アイデミー
所在地	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-1 山碁ビル3F
設立	2014年6月10日
資本金	8.0億円（2022/2/28時点、資本剰余金含む）
株主	経営陣、東京大学エッジキャピタルパートナーズ(UTEC)、Skyland Ventures、大和企業投資、ダイキン工業、テクノロ、古河電気工業、東京大学協創プラットフォーム開発(東大IPC)、千葉道場ファンド、KDDI地方創生ファンド、個人投資家
従業員数	従業員数：95名（2022/2/28時点、アルバイト含む）
電話番号	03-6868-0998
事業内容	AIを中心とするDX人材育成のためのeラーニングプラットフォーム「Aidemy Business」の提供、Python特化型オンラインプログラミングスクール「Aidemy Premium」の提供、プロジェクトの企画から運用までを一気通貫で支援する“プロジェクト伴走型”支援サービス「Modeloy」の提供
顧問法律事務所	アンダーソン・毛利・友常法律事務所
許認可番号	有料職業紹介事業認可番号：13-ユ-310992

加盟団体



一般社団法人 日本経済団体連合会



一般社団法人 人工知能学会



一般社団法人
日本ディープラーニング協会



一般社団法人 データサイエンティスト協会 賛助会員

経営陣

代表取締役執行役員 社長CEO	石川 聡彦
取締役執行役員 事業本部本部長COO	河野 英太郎
取締役執行役員 コーポレート本部本部長	馬場 博明
取締役執行役員 コーポレート本部副本部長CFO	伊藤 浩介
取締役執行役員 技術部本部長CTO	清水 俊博

社外取締役

郷治 友孝
(株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ 代表取締役社長)

鈴木 智行
(ソニー株式会社元執行役員副社長)

椎木 茂
(日本IBM株式会社元専務執行役員)

常勤監査役

若松 典子

非常勤監査役

清水 政彦
(HCA法律事務所パートナー弁護士)

堂田 文明
(名古屋大学客員准教授)

技術アドバイザー

國吉 康夫 (東京大学大学院情報理工学系研究科 教授)

木下 裕介 (東京大学大学院工学系研究科 准教授)

川越 至桜 (東京大学生産技術研究所 准教授)

受賞歴



2018年10月
グッドデザイン賞を受賞



2019年11月
eラーニングアワード2019にて
「AI・人工知能特別部門賞」を受賞



2019年11月
日本の人事部主催
HRアワード2019にて
「プロフェッショナル部門」に入賞